



今年度の図書館経営について、昨年度の経営をもとに、差し当たって、共通理解していただきたい点についてお知らせします。

## 1. 運営方針

- ・図書室の資料設備の充実を図るとともに、環境を整え、読書習慣の形成を目指す。
- ・職員間の連携や図書ボランティアの活用を通して、学校図書館運営の活性化を図る。

## 2. 読書タイムについて

- ・朝読書の取り組み四原則に従って実施

○みんなで読む ○毎日読む ○好きな本を読む ○ただ読むだけ

そのために、次のことを徹底する。

2校時の学習が終わったら机の上に本を出す

一人で黙々と10分間読む

職員も読む

## 3. 図書室利用について

- ・図書室での読書は常時可。約束「静かに」「本や椅子はもとどおりに」。
- ・貸し出し・返却について  
時間…ほっとタイム・昼休み  
方法…図書委員、図書ボランティアが、バーコードを読み取って処理
- ・利用指導は各学級で行う。
- ・読書した本の書名を個人の読書ファイルに記入する。ファイルの管理は各学級で行う。

## 4. 図書資料の配架、購入について

- ・教育活動や時事の話題・季節行事等を意識し、ボランティア、大曲図書館の協力を得ながら配架する。
- ・学年にふさわしい読み物、各教科の調べ学習等に必要な本などを検討し、主任の先生方を中心に選書し、購入する。

## 5. 行事計画

- ・4月23日「子ども読書の日」・・・今年度最初の読み語りを実施
- ・11月第1木曜日「大仙っ子 読書の日」・・・読書に関わる一連の催し「読書まつり」を予定